



愛らしい姿見て 別府、志高湖



親鳥を追って池を泳ぐ2羽の姿が見られる＝8日、別府市の志高湖

コブハクチョウひな生まれる

【別府】別府市の志高湖でコブハクチョウのひなが生まれた。愛らしい姿が訪れた人たちを楽しませている。

湖に隣接するキャンプ場「Recamp別府志高湖」によると、4月30日から5月26日までに計12個の卵を確認。6月13日、2羽のひながかえつたのを見つけた。アナグマやカラスなどの動物からの被害を防ぐため、キャンプ場の池に柵を設けて保護している。

7月8日時点で体長約40センチまで成長した。健康状態も良好。親鳥の後について泳いだり、仲良く草をついばんだりする様子が見られる。8月中旬以降、湖に放つ予定。

キャンプ場スタッフは「成長が早く、小さくてころんとした姿が見られるのはあと1カ月ほど。ぜひ見に来てほしい」と呼びかけている。

志高湖に生息するコブハクチョウは10羽になった。

(内田杏実)

〔問①〕 別府市の志高湖で生まれた動物のひなは何ですか？

コブハクチョウのひな

〔問②〕 ひなは2匹生まれましたが、その動物の卵は全部であと何個ありますか？

10個

〔問③〕 その動物の天敵は何ですか。

アナグマ、カラス

〔問④〕 あなたが好きな動物の赤ちゃんと、理由を教えてください。

自由記述